

備前市のアスリート

備前市ゆかりのスポーツ選手の軌跡

2024年現在の現役プロ選手

野球

○山本由伸（1998年）浦伊部出身

MLBロサンゼルス・ドジャース 投手

・伊部小（伊部パワフルズ）↓備前中（東岡山ボーイズ）↓都城高等学校（宮崎県）

・平成28（2016）年

オリックス・バファローズドラフト4位指名

・平成29（2017）年

8月20日プロ公式戦先発投手デビュー

・令和元（2019）年

防御率1.95で最優秀防御率タイトル獲得

・令和3（2021）年

3月10日びぜん特別観光大使就任

8月7日東京オリンピック金メダル獲得

11月3日スポーツ振興紫綬褒章受章

12月JR伊部駅前にゴールドポスト設置

12月26日備前市市民栄誉章受章

・令和4（2022）年

6月18日ノーヒットノーラン達成

・令和5（2023）年

3月22日（日本時間）WORLD BASEBALL CLASSIC出場、侍ジャパン優勝

8月27日備前市スポーツ顕彰受賞

9月9日2年連続ノーヒットノーラン達成

12月22日MLBロサンゼルス・ドジャースと契約

※令和3年～5年

プロ野球史上初の3年連続最多勝、最優秀防御率、最多奪三振、最高勝率の投手部門4タイトル（投手四冠）を獲得、また、3年連続最優秀バッテリー賞、ゴールドエンゲラフ賞、ベストナイン、沢村賞、パ・リーグMVP受賞

・令和6（2024）年

シーズン成績：登板18試合、投球回90回、勝利数7、防御率3.00、奪三振105
10月31日（日本時間）MLBロサンゼルス・ドジャースがワールドシリーズ制覇、山本投手は第2戦で6回1/3を投げて奪三振4、被安打1で勝ち投手となり、WS制覇に貢献



○頼宮裕真（1996年）浦伊部出身

オリックス・バファローズ 捕手、内野手

・伊部小（伊部パワフルズ）↓備前中（瀬戸内マリナーボーイズ）↓岡山理大附属高校↓亜細亜大学

・侍ジャパン大学日本代表

・平成30（2018）年

オリックス・バファローズからドラフト2位指名を受け翌年入団

・令和元（2019）年

3月29日開幕戦で「5番・三塁手」として

公式戦スタメンデビュー

・令和2（2020）年

10月24日1軍捕手デビュー

・令和3（2021）年

3月10日びぜん特別観光大使就任

・令和4（2022）年

日本シリーズ第3戦で4番打者

・令和5（2023）年

首位打者（打率3割7厘）

ベストナイン受賞（一塁手部門）

・令和6（2024）年

シーズン成績：81試合、打率1割9分7厘、290打席、49安打、7本塁打



(c) ORIX Buffaloes

○福島章太（2002・10・24生）西片上出身
中日ドラゴンズ 投手

・片上小（片上野球スポーツ少年団）↓備前中（瀬戸内ボーイズ）↓倉敷工業高校

・令和2（2020）年

中日ドラゴンズからドラフト4位指名を受け

翌年入団

・令和4（2022）年

2軍で18試合に登板、チーム最多の6勝

・令和5（2023）年

8月10日 1軍デビュー



©CHUNICHI DRAGONS

・令和6（2024）年

2軍で23試合に登板

10月 中日ドラゴンズを退団

・令和7（2025）年

社会人野球クラブチーム・シヨウワコーポ

レーション硬式野球部入団（岡山県美作市）

サッカー

○島村拓弥（1999年）伊部出身

J1柏レイソル MF

・伊部小（ヒーロ備前ジュニア）↓オオタFC↓

備前中（サウーディFC）↓立命館宇治高（京都サンガFC・U-18）

・平成29（2017）年京都サンガFC

・平成30（2018）年FC岐阜

・令和元（2019）年ロンドリーナ（ブラジル）

・令和2（2020）年セレッソ大阪

・令和3（2021）年FC今治

・令和5（2023）年ロアッソ熊本

・令和6（2024）年1月5日柏レイソルへ移籍

シーズン成績：27試合、3得点、3アシスト

自転車競技

○太田海也（1999年）岡山市出身

競輪選手・S級1班 備前緑陽高校出身

◆備前市長スポーツ特別表彰授与

◆2024パリオリンピック出場

◆岡山県スポーツ特別顕彰受賞

〈UCIトラックネーションズカップ2024戦績〉

第1戦（オーストラリア・アデレード）

男子チームスプリント

銀メダル

男子ケイリン

銅メダル

男子スプリント

金メダル

第2戦（香港）

男子チームスプリント

銀メダル

男子ケイリン

金メダル

男子スプリント

金メダル



オリンピック出場選手

1924第8回パリオリンピック

○谷 三五（1894年～1956年）伊里出身

100m1次予選3着、200m2次予選3着

・日本人で初めて100m走で10秒台（10秒8）

の記録を出しました。



・日本からフランスへは40日の船旅で、船上で練習をしたということです。

・アムステルダム五輪で800m銀メダルを獲得した、同郷の人見絹枝選手を指導しました。

1952第15回ヘルシンキオリンピック

○牧 真一（1917年～1977年）京都市出身

三石高級耐火工業（現・三石ハイセラム）

社長、同志社大学フェンシング部監督

1952ヘルシンキオリンピックを観戦に行き、

フェンシング競技に参加申し込み、フルーレ・

エペ・サーブル全種目に我が国初のフェンシング

選手として個人出場



昭和36（1961）年

三石体育協会初代会長

昭和50～52年

日本フェンシング協会

会長

1956 第16回メルボルンオリンピック

○山口隆弘（1936年～2012年）伊里出身
重量挙げフェザー級9位



2012 第30回ロンドンオリンピック

○重友梨佐（1987年～）香登本出身
女子マラソン 78位
・大阪国際女子マラソン2回優勝（2012・2017）
※2018・3月末現役引退



2021 第32回東京オリンピック

○山本由伸（1998年～）浦伊部出身
野球 金メダル
・ドミニカ戦（オープニングラウンド）
6回被安打2本、9奪三振、無失点
・韓国戦（準決勝）
5回1／3で被安打5本、9奪三振、2失点



2022 第24回北京冬季オリンピック

○小松原美里（1992年～）閑谷出身
フィギュアスケート・アイスダンスで、小松原尊（ティム・コレット）選手とのカップルで出場
団体戦銀メダル・個人戦22位
※2024・4・22美里選手引退（プロ転向）
でカップル解散



2024 第33回パリオリンピック

○太田海也（1999年～）岡山市出身
備前緑陽高等学校卒業
男子チームスプリント 5位
男子スプリント 7位
男子ケイリン 準決勝失格

